

愛知の土地改良

理事会・支会長会議・参与会 2

春の叙勲 3

要請活動 4

研修会 7

土地改良区体制強化事業情報 10

広報活動 10

お知らせ 12



田んぼアート

制作：茶屋新田田んぼアート実行委員会(名古屋市港区)



みどり
水土里ネット愛知

発行／愛知県土地改良事業団体連合会
名古屋市西区栄生一丁目18番25号
電話(052)551-3611(代)



理事会・支会長会議・参与会

令和6年度

第1回理事会 開催

8月22日(木)、第1回理事会を、愛知県土地改良会館7階大会議室において開催した。

中野治美会長の挨拶の後、本会参与の長田敦司愛知県農林基盤局長よりご挨拶をいただき、議事に入った。提出した下記議案は、いずれも原案どおり可決承認された。



記

第1号議案 令和5年度事業報告並びに一般会計収支決算及び財産目録の承認について

第2号議案 愛知県土地改良事業団体連合会事務局規程の一部変更について

第3号議案 令和6年度一般会計収支補正予算の承認について

その他 (1)本会役員研修会(全国土地改良大会千葉大会)について

(2)要請活動について

(3)農林水産省検査結果について

(4)その他

令和6年度

第1回支会長会議 開催

7月11日(木)、第1回支会長会議を、愛知県土地改良会館6階第1研修室において、中野治美会長(海部支会長)、三浦孝司副会長(豊田支会長)、太田考則名古屋支会長、瀬戸三朗一宮副支会長、神長健一半田支会長、石川克則岡崎支会長、浅井

喜代治幡豆支会長、土屋浩豊橋支会長出席のもと開催した。

提出した下記議案は、いずれも原案どおり決定された。

記

協議事項

(1)理事会付議事項について

(2)その他



令和6年度 第1回参与会 開催

7月16日(火)、第1回参与会を、愛知県土地改良会館6階第1研修室において開催した。

中根専務理事の挨拶の後、参与を代表し、下平達也愛知県農林基盤局農地部長よりご挨拶をいただき、議事に入った。

提出した議案は8月22日開催の理事会において、令和5年度事業報告並びに一般会計収支決算等が協議された。また、本会役員研修会として参加する全国土地改良大会千葉大会の内容、農林水産

省並びに関係国会議員への要請活動について現状を報告した。



春の叙勲

政府は令和6年4月29日付で令和6年春の叙勲の受章者を発表しました。

土地改良関係者からは日比野郁郎日光川西悪水土地改良区理事長、近田明久元豊橋北部土地改

良区理事長が旭日小綬章の栄に浴されました。

このたびの栄えある受章を心からお慶び申し上げます。益々ご壮健でご活躍されますようお祈りいたします。

旭日小綬章



日比野 郁郎様
日光川西悪水土地改良区理事長

旭日小綬章



近田 明久様
元豊橋北部土地改良区理事長

要請活動

6月5日(水)、東海農政局において、中野治美会長より令和7年度農業農村整備事業に関する

21項目の重点要請を、森重樹東海農政局長を始め局幹部職員へ実施した。



東海農政局幹部への要請



森東海農政局長に要請書を手交

要請書

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

土地改良関係の予算は、**令和5年度の補正予算1,777億円と、令和6年度の当初予算4,463億円を合わせて6,240億円を確保し、平成21年度の当初予算を上回る対応に重ねてお礼を申し上げます。**

しかしながら、地域ニーズに応じた事業を安定的、計画的に展開するためには、**農業農村整備事業の当初予算の安定的な確保が不可欠**であります。当初予算の割合は、平成21年度当初比で77%に留まっています。

本県は、古くから木曾川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水路が開削され、戦後は愛知用水を始め、各水系で大規模水利事業を展開してきたことにより、**農業産出額で全国8位、中部地方最大の農業県**であり、これを支えていくためにも、**計画的かつ着実に農業生産基盤の整備を進めていかなければなりません。**

これらの大規模な水利施設を、更に機能的かつ高度に活用し、維持・更新をしていくためには、**国営事業・水資源機構営事業を着実に推進**していただくと共に、その他の施設についても、**適切な時期に次代を見据えた更新や機能保全対策**を実施していく必要があります。

特に、本県の農業を飛躍的に発展させた水資源機構施設はこれまでも整備が進められてきましたが、このうち、**木曾川用水施設は長年に亘る地盤沈下等による機能低下が生じていることから、着実な事業実施をする**必要があります。また、**愛知用水及び豊川用水施設は、農業用水の安定供給のため、老朽化対策のみならず耐震対策を計画的に進める**必要があります。

また、近年の自然災害の発生状況や大規模地震発生の将来予測を踏まえ、安定した農業経営、農村の安全・安心の暮らしの実現のため、**防災減災に資する農業水利施設の地震・豪雨対策の計画的な整備**が喫緊の課題であります。

今回、こうした課題や地域のニーズに応えるべく、**3つのテーマで合わせて21項目の重点要請**を行いたいと思います。愛知県土地改良事業団体連合会は、今後も国・愛知県と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく所存でありますので、格別のご高配をお願いいたします。

令和6年6月

愛知県土地改良事業団体連合会

会長 中野治美

I 地域ニーズに応じた農業農村整備事業の展開について

- 1 建設資材価格等の高騰分を含めた予算確保について
- 2 被災時に用水を確保できる緊急連絡水路の設置について
- 3 FRPM管の漏水事故による第三者被害の防止について
- 4 農地防災事業の効率的な実施に向けた設計基準等の改訂について
- 5 中山間地域における土地改良事業の促進について
- 6 農業農村整備事業における費用対効果の分析手法の改善について
- 7 水資源機構営事業の制度拡充について

II 農業の成長産業化、国土強靱化に資する農業農村整備事業の促進について

- 1 農業生産基盤整備の促進について
- 2 国土強靱化に資する農地防災事業の促進について
- 3 多面的機能支払交付金による地域の共同活動の着実な促進について
- 4 土地改良施設維持管理適正化事業の促進について
- 5 水利施設管理強化事業の促進について

III 暮らしを支える大規模水利施設の耐震化及び更新整備について

- 1 明治用水頭首工地区 土地改良施設突発事故復旧事業の推進について
- 2 国営総合農地防災事業 新濃尾地区の推進について
- 3 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区の推進について
- 4 国営施設機能保全事業 尾張西部地区の推進について
- 5 国営土地改良事業 矢作川沿岸地区の早期事業化について
- 6 宮田用水施設における地域整備方向検討調査の着実な推進について
- 7 水資源機構営 豊川用水二期事業の推進について
- 8 水資源機構営 木曾川用水濃尾第二施設改築事業の推進について
- 9 水資源機構施設の更新整備について

6月10日(月)には、農林水産省農村振興局において、中野治美会長、女性理事及びあいち水土里ネット女性の会により同内容の要請について、長井

俊彦農林水産省農村振興局長を始め農村振興局幹部職員への要請活動を実施した。また、関係の国会議員に対しても要請活動を行った。



長井農村振興局長に要請書を手交



宮崎雅夫参議院議員に要請書を手交

農業農村整備の集い

— 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —

6月10日(月)、東京都千代田区の砂防会館別館シェーンバッハ・サボーにおいて農業農村整備の集いが開催された。

この集いは、全国の土地改良関係者が一同に会し、現下の情勢を共有した上で、農業農村整備の一層の推進を図っていくことを目的に春・秋と2回開催されており、会場には全国からの土地改良関係者約1,200名が参集した。本県からは、中野治美会長始め、本会会員、愛知県農林基盤局より21名が参加した。

冒頭、二階俊博全国水土里ネット会長は、土地改良は日本の農業を発展させ、農村を豊かにする礎であり、「闘う土地改良」のもと、十分な予算の確保のために全力を尽くしてほしいと述べられるとともに、土地改良における男女共同参画の推進について女性理事の登用が大幅に増えた。これは皆さんが本気で取り組んでいる成果であるので、これからも引き続き取り組んでほしいと強調した。

続いて、鈴木憲和農林水産副大臣が、6月に新しい食料農業農村基本法が施行され、農地や農業水利施設といった農業生産基盤について気候変動等による災害防止軽減や先端技術の活用を盛り込むとともに、生産基盤の整備に加え新たにその保全を位置づけた。今後新たな基本法に基づいて基本計画の策定を通じて施策の一体化を図っていく。また、農業水利施設の維持管理等を担う土地改良区の運営基盤の強化は極めて重要な課題であり、土地改良改正法案の来年の通常国会での提出を視野に検討を進めている。今後とも皆様の期待に応えられるよう十分な予算を確保すべく全力を傾けていくことを約束すると宣言された。



二階全国水土里ネット会長による主催者挨拶

また、舞立昇治農林大臣政務官、高橋光男農林水産大臣政務官、滝波宏文参議院議員農林水産委員会委員長、細田健一自由民主党農林部会長、進藤金日子参議院議員(財務大臣政務官、都道府県土連会長会議顧問)からも祝辞が述べられ、予算確保や土地改良事業の更なる推進への尽力を誓った。

その後、宮崎雅夫参議院議員(都道府県土連会長会議顧問)より情勢報告が行われ、電気料金の高騰対策、食料農業農村基本法の改正、国土強靱化基本法の改正等について言及された。あわせて基本法の改正で終わりではなく、ここからがスタート。今後新たな食料農業農村基本計画や土地改良法の改正など、政策を実現するためには予算は不可欠、皆さんのご意見をしっかり踏まえ、努力してまいりたいと強く訴えられた。

最後に、予算の確保へ向けての“ガンバロウ三唱”を、富山和代会長(ちば水土里ネット女性の会)により発声され、土地改良団体の更なる活性化のため、一致団結することを誓い閉会した。



宮崎参議院議員による情勢報告



進藤参議院議員による挨拶

研修会

水土里ネット新規担当者向け研修会

5月22日(水)、愛知県土地改良会館7階大会議室において、「新規担当者向け研修会」を本会会員40名、水土里ネット愛知職員6名の出席のもと開催した。

研修会は中根俊樹専務理事より水土里ネットの役割についての講義の後、東海農政局鈴木理之土地改良指導官より土地改良法の基礎についての講義が行われた。

また、午後からは、「社会人としての心得・礼儀・作法等からコミュニケーション力の応用」をテーマに、

オフィス・ウィズ代表取締役 竹内和美氏を講師にお招きし、ビジネスシーンでの正しい敬語の使い方や名刺の受け渡しの実践練習、職場でのコミュニケーションと基本姿勢などを講義していただいた。

参加者からは「今の土地改良を取り巻く現況や在り方を学ぶことで、自分の仕事への理解がより鮮明になりました」、「実践練習が多く、内容も仕事で活かせるようなものばかりで明日から実践したい」など様々な声が聞かれ、大変有意義な研修会となった。



ビジネスマナー研修



中根専務理事による講義



鈴木土地改良指導官による講義



竹内氏による講義

研修内容	講師(敬称略)
開 会	
土地改良とは? -水土里ネットの役割-	水土里ネット愛知 専務理事 中 根 俊 樹
土地改良法の基礎	農林水産省 東海農政局 農村振興部 土地改良管理課 土地改良指導官 鈴 木 理 之
新入社員ビジネスマナー研修 ※社会人としての心得・礼儀・作法等から コミュニケーション力の応用まで	株式会社オフィス・ウィズ 代表取締役 竹 内 和 美
閉 会	水土里ネット愛知 事務局長 佐 藤 広 尚

令和6年度

「あいち水土里ネット女性の会」総会及び研修会

7月3日(水)、愛知県土地改良会館7階大会議室において、「令和6年度 あいち水土里ネット女性の会総会及び研修会」を県内土地改良区等の女性職員50名出席のもと開催した。

最初に加藤里恵会長の挨拶のあと、進藤優貴子顧問(進藤金日子参議院議員令夫人)、中根俊樹専務理事よりご挨拶をいただいた。

提出議案である「令和5年度活動報告について」「令和6年度活動計画について」は、いずれも

可決承認された。

総会終了後、本会理事による講演会を開催した。鬼頭弘子理事からは「ひたむきに歩んできた道～専業農家に嫁いで～」を、功刀由紀子理事からは「リケジョが語る男女共同参画とは!～視点が変わると景色も変わる～」について講演いただいた。

※詳しくは本会ホームページ掲載の「Women's Vision vol.11」をご覧ください。



加藤会長による挨拶



進藤顧問による挨拶



鬼頭理事による講演



功刀理事による講演



総会出席者集合写真

水土里情報システム 操作研修会 開催

水土里情報システムを用いて業務の効率化を図るための実務的な研修として、システム利用者に対する研修会を以下の内容にて実施した。



日程	対象	研修内容
5月27日(月) ～31日(金)	システム利用中の 26団体(47名参加)	・認証 ・画面構成 ・表示パターン管理 ・計測 ・属性表示 ・塗り分け ・ラベル表示 ・検索 ・メモの作成 ・印刷等
6月3日(月)	愛知県職員 (17名参加)	・県事業情報の運用 ・新規地区作成及び継続地区更新 ・認証 ・画面構成 ・表示パターン管理 ・計測 ・属性表示 ・塗り分け ・ラベル表示 ・検索 ・メモの作成 ・印刷等

換地事務「新規担当者並びに 換地計画実務」研修会

8月26日(月)、27日(火)、28日(水)、愛知県土地改良会館7階大会議室において、標記研修会を開催した。

東海農政局土地改良管理課、名古屋法務局、愛知県農地計画課及び農業振興課から講師を招き、愛知県、市町村、水土里ネット、コンサルタント等の換地技術者及び地元の土地改良事業検討委員延べ56名が出席した。



8月26日(月)

研修内容	講師	(敬称略)
土地改良法	愛知県農林基盤局農地部農地計画課	課長補佐 永田 肇
農地中間管理事業の推進に関する法律 農業経営基盤強化促進法	愛知県農業水産局農政部農業振興課	主査 近藤 啓祐
不動産登記法 (表示)(権利)	名古屋法務局民事行政部不動産登記部門	登記専門職 登記官 浅野 一作 加藤 健二
測量	水土里ネット愛知 事業部計画課	主幹 宮崎 偉平

8月27日(火)

研修内容	講師	(敬称略)
換地理論・交換分合 所有者不明農地等の課題解消について	東海農政局農村振興部土地改良管理課	土地改良指導官 企画官 鈴木 理之 田中 卓也
換地実務の流れ	水土里ネット愛知 事業部計画課	課長補佐 伊藤 絵美子
相続等代位登記	水土里ネット愛知 事業部計画課	技師 日比野 大作
換地設計基準～原案作成	水土里ネット愛知 事業部計画課	係長 山本 潤

8月28日(水)

研修内容	講師	(敬称略)
農業振興地域の整備に関する法律	愛知県農業水産局農政部農業振興課	主事 荒川 恵里
農地法	愛知県農業水産局農政部農業振興課	主事 村田 将彦
換地計画書作成	愛知県農林基盤局農地部農地計画課	課長補佐 小柳津 貴宏

土地改良区体制強化事業情報

令和6年度

愛知県受益農地管理強化委員会

5月23日(木)、本会6階第1研修室において愛知県受益農地管理強化委員会を開催し、下記の議案について協議し承認された。

————— 記 —————

- 1 令和5年度受益農地管理強化対策実績報告並びに収支決算について
- 2 令和6年度受益農地管理強化対策実施計画並びに収支予算について
- 3 遅延地区について



令和6年度

愛知県管理運営体制強化委員会

5月23日(木)、本会6階第1研修室において愛知県管理運営体制強化委員会を開催し、下記の議案について協議し承認された。

————— 記 —————

- 1 令和5年度施設・財務管理強化対策実績報告並びに収支決算について
- 2 令和6年度施設・財務管理強化対策実施計画並びに収支予算について
- 3 指導監査について



広報活動

第23回

あいちの農業・農村フォトコンテスト 募集

活力ある「あいちの農業・農村」を広く一般にアピールし、愛知県の農業農村整備を強く推進していくため、以下のテーマにてフォトコンテストを開催いたします。ふるってご応募ください。

テーマ

「水土里が息づく景観と共にある土地改良施設」

賞

- | | |
|------------|----------------|
| 水土里フォト大賞 | 1点(賞状、副賞3万円) |
| 水土里フォト優秀賞 | 2点(賞状、副賞1万5千円) |
| 水土里フォト入選 | 10点(賞状、副賞5千円) |
| 水土里フォト四季賞 | 4点(賞状、副賞5千円) |
| 多面的機能共同活動賞 | 3点以内(賞状、副賞5千円) |
| 水土里フォト参加賞 | 参加者全員(記念品) |



応募締切

令和6年
10月31日
(当日消印有効)



詳細は、水土里ネット愛知ホームページ(<https://www.aichi-doren.or.jp/>)をご覧ください

令和6年度

あいちの農業用水展

イオンモールNagoya Noritake Garden(名古屋市西区則武新町)で開催!

「水の週間」に関連して、8月1日(木)から7日(水)にかけて愛知県、水土里ネット愛知、(公財)愛知・豊川用水振興協会主催(愛知県農業土木測量設計技術研究会共催)で、「あいちの農業用水展」をイオンモールNagoya Noritake Gardenで開催した。

「あいちの農業用水展」は、県内の農業用水の歴史と変遷等をパネルにより時代を追って紹介することにより、先人の努力の積み重ねにより育まれてきた「水」の重要性について広く一般に周知し、関心を高めてもらうことを目的として毎年開催している。

メインイベントを開催した7日は愛知県内の農業用水に関するパネル展示や幅4メートルに及ぶ大規模農業用水マットの設置を行った。また、水土里ネット愛知のブースでは「用水のいきものカード釣り」や

「のぞいてみよう!田んぼの世界」の放映などを行い、多くの来場者に体験していただいた。

会場は終日にぎわいが絶えることなく、イベントは盛況のうちに幕を閉じた。



「のぞいてみよう! 田んぼの世界」の放映



パネル展示の様子



用水のいきものカード釣り

令和6年度

みどり 水土里レポーター

(敬称略)

21世紀土地改良区創造運動の更なる浸透を図るため、地域の情報を発信していただく水土里レポーターが全国で活躍しています。令和6年度の本県のレポーターは、右表の水土里ネット職員の方にそれぞれ委嘱しご協力いただいております。今後の地域からの情報発信についてよろしくお願いたします。



水土里ネット南陽	主査	安達直子
水土里ネット愛知用水	総務課長	鈴木英典
水土里ネット豊田	工務課係長	加藤利明

なお、全国から投稿された発信情報は、新・田舎人フォーラム(全国水土里ネットホームページ <https://www.inakajin.or.jp/>)に掲載されております。本県レポーターの発信情報も掲載されていますので是非ご覧ください。



愛知県 ため池サポートセンター

令和6年7月1日発足

ため池の **困った** に
取り組む ためサポ

ため池
管理者の

相談窓口



TEL.052-551-3612

毎週月～金 ※土日、祝日、年末年始は
お休みさせていただきます。

- 午前9時～11時30分
- 午後1時～3時

- ご相談の際には、ため池の「名称」及び「所在地」お知らせください。
- 来所による相談は、事前に電話での予約をお願いします。

愛知県ため池サポートセンター

(愛知県土地改良事業団体連合会 地域保全課内)

〒451-0052

愛知県名古屋市西区栄生一丁目18番25号(愛知県土地改良会館 5F)

TEL.052-551-3612

E-MAIL | tamesapo@aichi-doren.or.jp

HP | <https://www.aichi-doren.or.jp/tamesapo/>

愛知県
ため池サポート
センターHPは
こちらから



上記、二次元コード読み取りで簡単にアクセスできます。

ため池PRイベント

『あしのべ池・はとが池 秋のため池ウォークラリー』 開催のお知らせ

足延池・鳩ヶ池周辺を散策しながら出題されるクイズやパネル展示を通じて、農業用ため池についての知識(歴史、仕組み、役割、防災対策など)を楽し

く学べるイベントが開催されます。

ウォークラリーに参加して素敵な記念品をゲットしよう!

— 記 —

開催日時 令和6年11月30日(土) 午前11時から午後3時まで

開催場所 岡崎市 東公園(足延池・鳩ヶ池)



足延池



鳩ヶ池

主催/愛知県

協賛/岡崎市、愛知県土地改良事業団体連合会、公益財団法人 愛知・豊川用水振興協会、
愛知県農業土木測量設計技術研究会

研修会のご案内

研修会・催し名	開催月日	対象者
技術実践向上研修	9月20日(金)	市町村、水土里ネット職員
総合整備推進研修(会計研修)	10月1日(火)	市町村、水土里ネット職員
水土里ネット事業視察研修会	10月31日(木)・11月1日(金)	事業実施会員役職員
水土里ネット女性理事等意見交換会(東海ブロック)	10月28日(月)	水土里ネット女性理事 あいち水土里ネット女性の会
農地・水・環境のつどい	12月1日(日)	多面的機能活動組織等
農業用排水機県営移管期成同盟会事業視察研修会	11月21日~22日	同盟会会員役職員
適正化事業加入団体现地研修会	12月予定	市町村、水土里ネット職員
水土里ネット役職員研修	令和7年1月予定	水土里ネット役職員
水土里情報システム応用操作研修会	未定	水土里情報加入団体職員

農業基盤整備資金の金利のご案内

令和6年8月20日現在の株式会社日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。
金利は金融情勢により変動します。詳しくは名古屋支店(TEL052-582-0741)までお問い合わせください。

区分	融資期間にかかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年
補助事業 県営	1.55%	—	—	—	—
団体営	1.40%	—	—	—	—
非補助事業 一般	1.40%	—	—	—	—
災害復旧	—	0.70%	0.95%	1.25%	1.40%

令和6年度 田んぼアート



名古屋市

7月7日(日)、茶屋新田田んぼアート実行委員会主催(構成団体:茶屋新田地域資源保全隊、愛知県、名古屋市)による『令和6年度田んぼアート観察会』が名古屋市港区茶屋において開催された。

「田んぼアート」の製作は今回で13回目を迎えた。今年、名古屋市内アニメーション作家サカイタカヒロ氏デザインによるドクターイエローや名古屋の人気スイーツ「ぴよりん」と「ヒマリとくま」がモチーフとなっている。

当日は晴天にも恵まれ多くの親子連れでにぎわい、訪れた来場者は観察用の高台から田んぼアートの見事な出来栄を堪能されていた。

なお、今後の行事として、10月14日(月・祝)に稲刈り、12月8日(日)には収穫祭が予定されている。



田んぼアートの全景

安城市

7月20日(土)、ふれあい田んぼアート実行委員会主催による『ふれあい田んぼアート2024鑑賞会』が安城市和泉町(デンパーク正面ゲートから西へ400m)において開催された。


今年で17回目を迎えるふれあい田んぼアートは「日本デンマーク100年」を記念し実施された。絵柄公募により決定した地元農産物「米」「いちじく」「梨」のキャラクターと、日本デンマーク100年ロゴマークを盛り込んだ絵柄となっている。

当日訪れた来場者は、高所作業車から絵柄を鑑賞されていた。



ふれあい田んぼアートの全景

残暑お見舞
申し上げます。

 **みどり
水土里ネット愛知**
会長 中野 治 美
役職員一同